



2022年8月31日
株式会社エフピコ
農林中央金庫 岡山支店

株式会社エフピコと農林中央金庫とのサステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

株式会社エフピコ（代表取締役会長：佐藤 守正、以下「エフピコ」）と、農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登）は、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）による金銭消費貸借契約（以下「本件ローン」）を締結いたしました。

SLL は、借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、貸付条件を SPTs の達成状況に連動させることで、借り手に対し目標達成に向けた動機付けを促進するとともに、環境・社会の面から持続可能な事業活動および成長支援を目指すものです。

エフピコグループは、「もっとも高品質で環境に配慮した製品を」「どこよりも競争力のある価格で」「必要ときに確実にお届けする」という理念のもと、簡易食品容器の製造・販売・リサイクル等を通じた循環型価値創造に努めております。特に、消費者・スーパーマーケット・包材問屋・エフピコが4者一体となり実施するエフピコ方式のリサイクル「トレー to トレー」「ボトル to トレー」による CO2 排出量削減および廃棄物削減、環境負荷の低い容器の開発による省資源化などを通じて、社会課題の解決への貢献と持続的な成長の実現を目指しております。

また、農林中央金庫は、自らの存在意義（パーパス）を「持てるすべてを「いのち」に向けて。ステークホルダーのみならずともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます」と定めています。2021年5月に発表した中長期目標において、2030年までにサステナブル・ファイナンスの新規実行額を10兆円とする目標を掲げるなど、サステナブル経営に向けた歩みを進めており、エフピコのサステナビリティ経営にかかる理念にも共感しています。本件ローン対応を通じて、CO2 排出量削減をはじめとしたエフピコによる気候変動問題の解決に資する取組みを支援してまいります。

本件ローンでは、エフピコグループの中・長期環境目標および CO2 排出量削減に向けた取組目標を踏まえ、「2031年3月期までに CO2 排出量を31%削減（Scope1・2、2020年3月期比）」、「エコ製品（エコトレー、エコ APET、エコ OPET）による CO2 排出削減量の増加（2025年3月期までに23.7万トン、2031年3月期までに27.2万トン）」の2つを SPTs として設定いたしました。

なお、本件ローンの契約締結にあたっては、SLL 原則等への適合性について、株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しており、上記 SPTs については、野心度および有意義性等の観点から SLL 原則に適合していると評価されております。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社エフピコ 経営企画室 I R・広報課 03-5325-7756
農林中央金庫 岡山支店（野尻・中川） 086-222-0724

【本件ローンの概要】

- 実行日： 2022年8月31日
- 融資期間： 10年
- 金額： 50億円

【SPTs の内容】

- ① 2031年3月期までに CO2 排出量について Scope1 および Scope2 の排出量の合計を総量で 2020年3月期比 31%削減すること。
- ② エコ製品（エコトレー、エコ APET、エコ OPET）による CO2 排出削減量（※）を 2025年3月期までに 23.7万 t、2031年3月期までに 27.2万 t まで増加すること。

※バージントレーの製造と比較し、リサイクルに伴うエコトレーの製造によって得られる CO2 排出抑制効果

【貢献する主な SDGs】



【参考リンク】

エフピコの環境にかかる取り組みについて：

<https://www.fpcopl.com/esg/environmenteffort.html>

株式会社格付投資情報センターによる第三者意見：

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

以上